



帰ってきたい まちづくりを

私は、今年の3月に高校を卒業します。私の高校生

活は、新型コロナの影響でたくさん制限を受け、修学旅行などの行事はほとんど中止になりました。しかしそんな中で、人生で初めての投票に行きました。

学校では授業でも選挙の仕組みについて学び、模擬投票などをしてきましたが、実際に投票することで選挙について再確認し、投票権

の価値と責任を実感することができました。

コロナ禍の現在、人々との繋がりが感じづらくなっています。感染対策や自粛で人と会うことが少なくなり、学校は分散登校、会話はオンライン上でということが増えました。毎日顔を合わせるのが当たり前だった友達とは、画面の「向こう側」と「こちら側」で、コミュニケーションを取るこ

字与那覇

喜納 愛さん(高3)

とが普通になりました。でも人と繋がる方法が変わっていく一方で、変わらないものもあると思います。それは個人にとつての人のつながりの価値です。大学生になり、県外に出て行く同級生も少なくありません。そんな同級生たちが、またこの町に帰ってきたい、そう思うようなまちづくりを議員の皆さん、よろしくお

議会中継が スマホでも 見られます

本会議がインターネット中継で見られます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、できる限り、インターネット中継をご利用ください。



町の紹介	町民窓口
▶ 南風原町例規集	▼
▶ 外部リンク集	▼
▶ バーチャル博物館	▼
▶ 口座支払状況確認	▼
▶ まちづくり出前口座	▼
▶ 町議会	▼
▶ 町議会中継	▼

下にスクロール

◀ここをクリック



◀左のQRコードを読み取ることで議会中継サイトに繋がります。



次回定例会の開会予定

3月4日(金)午前10:00

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしています。ご意見・要望なども広く募集しています。議会だよりへのご意見・ご感想も受け付けています。

連絡先:議会事務局

TEL.889-3097 FAX.889-4499

E-Mail H8893097@town.haeburu.okinawa.jp

編集後記

「食の健康を」。今定例会では18歳以下の子育て世帯へ10万円の特別給付金が可決された。休園、休校、休職ともなれば、家族が自宅待機する日数は多くなり、食費の割合は増大する。家計の節約術を再考し、一致団結してQOL(生活の質)の向上を実現したい。

「ちむぐくるで笑顔あふれる福祉のまち」を合言葉に、地域では包括的支援体制(民生委員、福祉協力員、社協、役場など)が充実し、当該世帯の巡回・訪問・健康管理を行い、我が事として関わっている。地道な活動をする中で、医療の逼迫をさける一助になっていることを感受し、各従事者に感謝を申し上げたい。本来の社会生活を取り戻すには、まだまだ時間はかかるが、お互いに感染防止対策を徹底し、乗り越えていきましょう。
(担当)議会広報委員 新垣 善之